

広報・PI チーム 会議録

会議の名称	川口市自治基本条例策定委員会 第12回広報・PI チーム
開催日時	平成20年8月12日(月)18時30分から21時00分
開催場所	川口市職員会館 3階 会議室
出席者	(リーダー)伊田(昭)委員 永瀬委員、堀和委員、林委員
会議内容	市民フォーラムポスター・ちらしについて 広報かわぐちについて 対話集会について 市民フォーラムについて
会議資料	・伊田(昭)委員作成資料、対話集会案 ・ポスター案、ちらし案
発言内容	市民フォーラムポスター・チラシについて ポスターについて 事務局 ・何度か校正を行い、現在のところ、このようなデザインとなっている。 (ポスターの内容、デザインについて意見を出し合う。) 事務局 ・先日、第4検討部会から「フォーラム」という名称について、強い要望があった。公聴を含まないのなら「フォーラム」という名称は相応しくないということであった。とはいうものの、実際には講演とパネルディスカッションを組み合わせたものは、フォーラムやセミナーと言っている例が多い。検討していただきたい。 ・シンポジウムという言い方もある。 事務局 ・日本では、一般的に厳密に区別してはいないようだ。ちなみにフォーラムはフォーラムディスカッションの略で、公聴というよりは、出席者全員参加の討論だ。セミナーはゼミと同義だ。 ・シンポジウムの場合は、参加者が質疑応答を行うものだが、実際はそんなに変わらないだろう。運営調整部会で、平先生が「今回のものはシンポジウムとは違う」と言っていたことも引かかる。 ・パネルディスカッションも行うし、このような形式のものをフォーラムと称することがよくあるのであれば、名称はこのままでいい。

- ・セミナーというと、学習といったイメージがする。
- ・公募市民が討論するだけでは、フォーラムとは言えないのか。
- ・運営調整部会では、市民フォーラムという名称についても了解をもらったという認識だ。
- ・他の検討部会では特に異論はでていない。
- ・市民シンポジウムも語呂が悪い。
- ・対話集会への繋がり、流れも含めて、フォーラムでよい。
- ・運営調整部会で決定したことを検討部会で報告して、そこで意見が出るたびにやり直しというもおかしな話だ。ご意見はご意見として伺うが。
- ・運営調整部会と検討部会、広報・PIと調整が難しい。

事務局

- ・第4検討部会の意見は、言葉の意味を理解したうえで、名称を決めたのかということだった。参加者に誤解を与えてはいけないということだ。

チームリーダー

- ・特に問題は無いようなので、名称は「市民フォーラム」としたい。

事務局

- ・ポスターはここで修正が無ければ8月20日に完成する。修正なしでよいか。1,200枚刷る。

(了承)

チラシについて

事務局

- ・裏側にプログラムをのせて、市役所で印刷をかける。表側のデザインがこれで良ければすぐにでもできる。

チームリーダー

- ・完成したら確認用にデータを送ってほしい。

事務局

- ・この内容のままなので、必要ならば明日にでも送る。
- ・さしあたって何部印刷をするか。こちらで計算したところ、全部で1,500枚程度だが、それでよいか。
- ・チラシのタイトルを分かりやすくという意見が出た。「まちの憲法」などだ。

事務局

- ・表はポスターのデザインそのものなので、変えるとなると時間がかかる。裏側なら何とでもなるが、すでに「まちの憲法」というフレーズは入っている。

広報かわぐちについて

チームリーダー

- ・事務局に任せてよいか。

事務局

- ・フォーラムの記事に関しては、広報課と打合せしながら進めている。「まちの憲法」シリーズだが、「地方自治とはなんですか」というタイトルで書いてみたが、第2回と半分くらい内容が同じになってしまった。今、別のタイトルではどうかと考えている。
- ・抽象的な話だと、そうになってしまう。具体的な内容になればいいのだが。正直なかなか難しい。
- ・「自治基本条例とは何か」ではどうか。

事務局

- ・このシリーズではないが、広報では以前に載せた。
- ・国や県との関係を、法律や財源と絡めて、川口市ができることを書けないか。

事務局

- ・複雑で細かい内容なので、あの長さに収めるのが難しい。
- ・「自治基本条例をつくと何が変わるのか」、これも難しい。具体的に書けば長くなるし、短くすると、結局は抽象的で同じようになる。
- ・内容が同じようになってもいいのではないか。読み比べる人もいないだろう。

事務局

- ・地方分権の話なら違う書き方ができるのではないか。噛み砕いて短くと言うとやはり難しいが。
- ・「市民主権とは」で書けないか。

事務局

- ・「自治」の話と同じようになってしまう。理念的なので読むほうはきついかもしれない
- ・他市の先行事例などではどうか。

- ・自治基本条例の全国の状況や、県内の制定状況ではどうか。

事務局

- ・抽象的なものは伝わりにくいので、具体的な内容のものが良い。本当は、具体的な条例の内容を紹介できれば良いのだが。例えば「情報公開は自治における重要な手法です」と言われた方がイメージしやすい。

- ・県内の状況を今回は載せてみてはどうか。条例が施行しているところや、検討中のところだ。

対話集会について

チームリーダー

- ・具体的なイメージを、という意見だったので、新しく、次第を用意した。平日夜間開催のイメージだ。司会 A さん、あいさつ B さん、自治基本条例の説明を C さん、素案の説明を D さんとして、質疑応答を加えて、1 時間 30 分くらいだ。
- ・自治基本条例の説明がメインになってしまうかと思う。

- ・各検討部会で、説明内容に違いがあってはいけないという意見が、所属する検討部会ではあった。まだ、素案であるから、違ってよいのか。説明を減らして意見を聞くという進行はどうか。人数が読めないのもきつい。市民フォーラムから繋げられれば、人数は来るはずで、説明も省ける。
- ・フォーラムに来なかった人間もいるだろう。対話集会は地元の人をという考えもある。
- ・広報的な側面と PI という側面のどちらを強くするのか。
- ・まずは知ってもらうことが大切だろう。
- ・このタイミングなら意見を聞く会だろう。周知するなら素案が出来てからではないのか。
- ・対話集会というからには対話をするべきで、そうでないなら説明会とするべきだ。説明会なら、内容を統一するマニュアルを作らないといけない。

チームリーダー

- ・確かに説明メインになっているが、その中で対話や意見聴取もある。対話メインにするというのは理想だが、今回初めて地域に出向くのと看から、説明に時間を割くのが現実的だ。
- ・マニュアルを作って、説明内容を同じくする必要はあるのか。
- ・編集委員が説明するのならそれほどの乖離はないだろう。
- ・20分、30分に話がまとまるようにするにはマニュアルは必要だ。
- ・それでは、誰がそのマニュアルを作るのか。編集委員には時間が無い。

事務局

- ・そもそも、40分間も説明をして、「さあ御意見をどうぞ」と出来るのか。最初の方の話は覚えてないだろう。項目を絞って意見を貰う形がいいのではないか。全部は無理だろう。
- ・市民が関心を持ちそうな項目について、意見を貰うということか。

事務局

- ・前文や総則的なところは、自治基本条例の説明で、ある程度カバーされる。
- ・「市民」や「議会」、「行政」をやっただけでも、時間はすぐ経ってしまうだろう。
- ・5回あるので、項目を分けてもいいのではないか。
- ・それならば、各検討部会に項目は任せてはどうか。
- ・市民が関心を持つ項目はそう多くはないだろう。

事務局

- ・広報・PIで項目を提案したほうが、検討部会に負担もかからない。項目ごとの想定時間もあるとよい。
- ・「市民」や「行政」といった項目か。

事務局

- ・「行政」と言っても大き過ぎる。
- ・検討部会や編集委員会で意見が一致しているようなことを聞いても、あまり意味が無い。自治基本条例の項目にこだわり過ぎても意見は出ない。普段から考えるようなことが良いのではないか。

- ・川口らしさなども含めて意見をもらえるといい。

チームリーダー

- ・来週には検討部会に説明するという、現実的な話があるので今日きちんと話をつめたい。
- ・「市民」、「行政」、「議会」の中の項目が良いのではないか。
- ・「市民」については、権利役割、参加、協働、住民投票、地域との連携とある。この中でどれにするか。
- ・意見が出やすいものがない。協働では難しいだろう。
- ・2つくらいどうか。市民参加はどうか。

事務局

- ・市政へのアクセス手段など、具体的なところに落としてはどうか。
- ・「行政」では、情報公開あたりが分かりやすいか。

事務局

- ・「地域社会のビジョン」を具体化するのが行政なので、「地域社会のビジョン」から出してはどうか。川口らしさにもつながる。
- ・これらだけでも1時間かかる。

事務局

- ・この2つを広報・PIチームから勤めて、あとは各検討部会にまかせるというかたちでどうか。
- ・「地域社会のビジョン」は全体に係る話であり、川口らしさや、よりよい地域社会を目指すなど、ポジティブであり意見出やすく、また、「アクセス手段」は、関心が強く、制度の話の参考になる。各検討部会への説明としては、こういったことでどうか。

チームリーダー

- ・各30分、説明してから意見を聞く形だ。
- ・開催は平日の夜間として、担当地区は前回のとおりとしたい。
- ・出た意見は持ち帰って検討する。条例から外れた意見要望は、事務局と相談してその場で対応する。
- ・開催の日時場所は相談のうえ決定する。

チームリーダー

- ・集客については、口コミに加えて、議員さんに動いてもらってはどうか。
- ・対話集会に参加しないほうがいいということではなかったか。

事務局

- ・政治活動とみなされるので、参加しないという話であった。集客についても、それはあてはまる。ノータッチがよい。
- ・確かに議員さんが動いては、人間関係で難くなる面もある。他の委員が集客をして、それで人が集まらないのなら仕方がない。
- ・全くの一般市民に来てもらうのは難しい。連合町会や公民館などの繋がりを利用してはどうか。
- ・会場のキャパシティはどうか。
- ・20から30人くらいなら、問題ない。

事務局

- ・お勤め2項目の質問に対する回答文は、あらかじめ必要だろう。検討部会によって、考えが違う。来場者に誤解が生じないようにしたい。
- ・市民の意見を聞いて、検討部会の人「持ち帰ります」とするのか、「こう思います」というのか。「こう思います」と言うのなら、その説明は統一しないといけない。
- ・持ち帰った場合についても、それをどうするのか決めておきたい。
- ・その場ではなかなか答えられない。
- ・個別の事例を挙げた質問が多いだろうが、個人や検討部会ではなく、策定委員会の意見を言ってもらわないといけない。持ち帰るしかない。
- ・対話なのだから、策定委員が一年間やってきた考えや思いを語ってもいい。委員も市民なのだから、市民同士の語らいにしたい。
- ・個人の意見だけではいけない。対話集会を検討部会ごとにやるのは、検討部会の意見をいうためではない。
- ・どんなものを作るのか。リハーサルをするのか、想定質問か。広報・PIチームで作るのか。

事務局

- ・質問に対して回答しないというのなら、それは説明しないといけない。なんでも回答するのではなくて、しないものはしないということも必要だ。

- ・それは事務局でできないか。

事務局

- ・事務局は前面に出ないほうがいいだろう。我々が前にでたらそれこそ対話集会でもなんでもなし、ただ市民が要望を言うだけの会になってしまう可能性がある。
- ・司会進行の役割が大切で、どう交通整理できるかだろう。条例に関係ない要望などをその場で断るようにはしなければいけない。最初に、言っておかなくては。

事務局

- ・まだ決まっていないところをどこまで説明するのか。
- ・検討中です、とするしかないだろう。

市民フォーラムについて

駅頭活動について

チームリーダー

- ・駅頭活動は、JRに聞いたところ構内でなければOKだ。

事務局

- ・デッキでは、警察への道路使用許可が必要だ。物を置くのなら道路維持課の道路占用許可が必要になる。

チームリーダー

- ・手作りのプラカードを持つ形だろうから道路占用は許可は不要だ。
- ・検討部会への配布資料や説明はどうするか。
- ・次の各検討部会の会議のメインは素案の話だろうから、まとめたものを作って提示しなければいけない。

チームリーダー

- ・私が一度まとめて、事務局とやり取りして作る。

パネリストについて

- ・編集委員の中から選ぶが、最終的には運営調整部会か編集委員会で人選するという話であった。第1検討部会は、編集委員の都合がつかないので、編集委員以外から人選したいという話があった。

	<p>チームリーダー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各検討部会から出なくてもよいし、編集委員会に任せる話だ。結果的に人が出ない検討部会があるのは仕方がない。 <p>事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際には、編集委員会には議員もいるし、交代して参加回数が少ない人もいる。それほど人がいるわけではない。 ・人数は3人でもいい。 ・4人は欲しい。 ・編集委員会にまかせるという話であった。 ・運営調整部会長は各部会にまかせるといったニュアンスだった。 <p>事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・編集委員会が責任を持って選ぶのか、各検討部会からの推薦を編集委員会が応諾するという形か、編集委員会に確認しないといけない。 <p>チームリーダー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・編集委員会が主体となって選任するという話だった。早く決めるようにしてもらいたい。 <p>事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第5検討部会から出るのは難しいということで、第1から第4の検討部会から各1名ということだった。運営調整部会では、編集委員会から4人ということであったが、第1検討部会の話など、事情が変わってきたので、これから編集委員会に打診したい。 ・8日の運営調整部会に提案することも考えると、次回是对話集會の話もある程度詰めないといけない。
次回以降日程	平成 20 年 8 月 25 日 (月) 18 時 30 分から。